

報道機関各位

平成28年 6月27日  
室蘭開発建設部 広報官

## 「苫小牧港西港区－9m耐震強化岸壁整備事業」が 「全建賞」を受賞しました

～物流の安定化・効率化と安全・安心の確保～

室蘭開発建設部苫小牧港湾事務所が実施した「苫小牧港西港区－9m耐震強化岸壁整備事業」が、一般社団法人全日本建設技術協会から「全建賞」の表彰を受けることになりました。  
表彰式の日時等は下記のとおりです。

### 【選考ポイント】

「苫小牧港西港区－9m耐震強化岸壁整備事業」は、老朽化した岸壁の更新に合わせて、上屋の撤去やエプロンの拡幅により、荷役の効率性、安全性を向上させるとともに、岸壁の耐震強化を図ることで、大規模地震時における物流維持が可能となった点が評価されました。

また、岸壁の耐震強化を図るための地盤改良において、港に隣接する火力発電所から発生する石炭灰を有効活用することで、建設コストを約30%縮減した点も評価されました。

### 【本事業の趣旨】

北海道外との物流において重要な役割を果たしているRORO船航路の安定化と物流の効率化を図るとともに、震災時においても緊急物資輸送の確保や産業活動の維持に貢献します。

### 記

- 1 日 時 平成28年6月28日（火）10時30分～12時
- 2 場 所 アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間  
(東京都千代田区九段北4-2-25)

※「全建賞」とは（全建賞HPから引用）

「一般社団法人全日本建設技術協会」（東京都港区赤坂）が行う表彰で、「建設技術の活用並びに公共事業の進め方や運用の工夫等により、特出した成果の得られた、もしくは、特出した成果を得ようとする事業及び施策を選考し、これを実施した機関を表彰するもの」です。

全建賞HP <https://www.zenken.com/hyusyou/hyousyou.html#zenkensyou>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部

築港課 上席築港専門官 岩田 真 電話 0143-25-7048

苫小牧港湾事務所 第1工務課長 井元 忠博 電話 0144-33-9114

室蘭開発建設部ホームページアドレス

<http://www.mr.hkd.mlit.go.jp/>

# 苫小牧港西港区 - 9m耐震強化岸壁整備事業の概要

- 老朽化した岸壁をRORO船※対応の岸壁へ改良することで、荷役の効率性、安全性が大幅に向上
- 併せて岸壁の耐震強化を図ることで、大規模地震時における緊急物資等の輸送機能を確保

※RORO船・・・貨物をトラックやフォークリフトで積み卸す(水平荷役方式)ために、船尾や船側にゲートを開ける船

- 苫小牧港西港区西ふ頭は、RORO船航路の拠点として、道外との物流に重要な役割を果たしています。
- しかし、建設から約50年が経過し、老朽化の進行による施設倒壊の危険がありました。また、岸壁直背後に上屋が存在し、トレーラの旋回や自動車の積み卸しスペースが不十分でした。
- このため、老朽化した岸壁の更新に合わせ上屋を撤去し、スペースを確保するなど、ふ頭の改良を進めています。また、大規模地震時における緊急物資等の輸送機能の確保を目的に、3号岸壁を耐震強化岸壁へ改良しました。
- なお、岸壁背後の地盤改良に火力発電所から発生する石炭灰などを有効活用し、建設コストを約30%縮減しました。



- 苫小牧港は現在週45便のRORO船が就航し、内貨物量は全国1位。
- 西ふ頭では、事業完成後、苫小牧港全体の約4割の航路が就航。
- 紙製品や自動車部品の移出や、完成自動車の移入など、道外との物流に重要な役割を果たしています。

## 整備前



## 整備後



※写真は3号岸壁が完成し2号岸壁を工事中の写真。現在は2号岸壁も完成し1号岸壁を工事中。

狭隘で見通しが悪く、低速運転や誘導員の配置など、荷役が非効率な状況



スペースや車両導線の確保により、荷役の効率性、安全性が大幅に向上

